

(資料4) 平成19年度地方環境研究所等との共同研究応募課題一覧

内訳：30機関62課題

平成20年3月31日現在

地環研機関名	担当者 (所属)	課題名	国環研担当者 (所属)	タイプ		研究期間
				A・B・C	α ・ β	
北海道環境科学研究センター	永洞真一郎 (環境科学部)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の大気曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄 (リスクC)	B	α	3年
	姉崎克典 (環境保全部)	ダイオキシン類及びPCBsの発生源解析に関する研究	橋本俊次 (化学)	B	β	3年
	五十嵐聖貴 (環境科学部)	摩周湖の透明度変化に関する物理・化学・生物学的要因解析	田中敦 (化学)	B	β	3年
釧路市教育委員会	若菜勇 (阿寒生涯学習課)	阿寒湖マリモの遺伝的多様性と保全に関する研究	中嶋信美 (生物)	B	β	3年
岩手県環境保健研究センター	高橋悟 (衛生科学部)	バイオアッセイによる環境試料の毒性評価	白石不二雄 (リスクC)	B	β	2年
	高橋悟 (衛生科学部)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の大気曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄 (リスクC)	B	α	3年
宮城県保健環境センター	大金仁一 (水環境部) 佐久間隆 (大気環境部)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の大気曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄 (リスクC)	B	α	3年
	北村洋子 (大気環境部)	北東部太平洋側における降水中の鉛同位体比測定によるアジア大陸からの越境大気汚染の調査	向井人史 (地球C)	B	β	3年
	中村朋之 (環境化学部)	環境残留性有機汚染物質 (POPs) の発生源解析のための簡易分析法に関する研究	橋本俊次 (化学)	B	β	3年
新潟県保健環境科学研究所	武直子 (調査研究室)	新潟県におけるオゾン高濃度現象の解明	大原利真 (アジアG)	B	β	3年
群馬県衛生環境研究所	大谷仁己 (水資源・温泉研究センター)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の大気曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄 (リスクC)	B	α	3年
	飯島明宏 (調査研究グループ)	アンチモンを指標とした沿道大気における自動車由来粒子状汚染物質の評価	大原利真・長谷川就一 (アジアG)	B	β	3年
福島県環境センター	古山友美 (調査分析グループ)	猪苗代湖湖水のpH上昇の原因調査	田中敦 (化学)	B	β	2年
茨城県霞ヶ浦環境科学センター	江原孝 (大気環境研究室)	関東地域における広域大気汚染のモデル研究	大原利真 (アジアG)	B	β	3年
千葉県環境研究センター	岡崎淳 (企画情報室)	オゾンによる植物被害とその分子的メカニズムに関する研究	青野光子・久保明弘 (生物)	C	β	3年
	小林広茂 (水質地質部)	沿岸性植物プランクトンの自動画像解析システムの開発研究	河地正伸 (生物)	B	α	3年
埼玉県環境科学国際センター	米持真一 (大気環境担当)	関東地域における広域大気汚染のモデル研究	大原利真 (アジアG)	B	β	3年
	長森正尚・長谷隆仁 (廃棄物管理担当)	埋立地ガスならびに層内保有水を象とした最終処分場安定化モニタリング	山田正人・遠藤和人 (循環C)	B	β	3年
	渡辺洋一・磯部友護・小野雄策 (廃棄物管理担当)	循環型社会物流システムに適した最終処分手法の開発	山田正人・朝倉宏 (循環C)	B	β	3年
	倉田泰人・川壽幹生 (廃棄物管理担当)	廃棄物の安定化に着目した品質評価技術の開発	阿部誠・山田正人 (循環C)	B	β	3年
東京都環境科学研究所	石井康一郎 (調査研究部)	関東地域における広域大気汚染のモデル研究	大原利真 (アジアG)	B	β	3年
	和波一夫 (調査研究部)	東京湾湾奥部水浴場における水質指標と要因解明	牧秀明 (水・土壌)	B	β	3年
	星純也 (分析研究部)	有害大気汚染物質自動分析計の精度管理に関する研究	田邊潔 (化学)	B	β	1年
	西野貴裕・佐々木裕子 (分析研究部)	PFOS、PF0Aの環境実態把握及び汚染源の推定	高澤嘉一・柴田康行 (化学)	B	β	1年
	山本央 (分析研究部)	PCBの迅速測定法に関する研究	橋本俊次 (化学)	B	β	1年

地環研機関名	担当者 (所属)	課題名	国環研担当者 (所属)	タイプ		研究期間
				A・B・C	α ・ β	
神奈川県環境科学センター	武田麻由子 (環境保全部)	ブナ林衰退地域における総合植生モニタリング手法の開発	清水英幸 (アジアG)	C	β	3年
	相原敬次 (環境保全部)	地衣類の遺伝的多様性を活用した大気汚染診断	河地正伸 (生物)	B	β	1年
	福井博 (環境技術部)	最終処分場の安定度判定に関する研究	山田正人・遠藤和人 (循環C)	B	β	2年
川崎市公害研究所	小倉隆	川崎市における技術・政策シナリオづくりに向けた統合的データベースの設計と構築研究	藤田壮 (アジアG)	B	β	3年
長野県環境保全研究所	樋口澄男 (環境保全部)	湖沼における野生絶滅・絶滅危惧車軸藻類の保全と復元に関する研究	笠井文絵 (生物)	B	β	2年
	小澤秀明 (環境保全部)	環境試料中のダイオキシン類および関連物質の分析法に関する研究	橋本俊次・伊藤裕康 (化学)	B	β	2年
	土屋としみ (環境保全部)	山岳地域における揮発性有機化合物の動態に関する研究	横内陽子 (化学)	B	β	3年
	浜田崇(循環型社会部)	都市環境気候図(クリマアトラス)の内容充実に向けた大気汚染、植物季節観測による環境評価	一ノ瀬俊明 (社会)	B	α	2年
	中込和徳 (環境保全部)	鉛同位体比測定によるアジア大陸からの越境大気汚染の定量化	向井人史 (地球C)	B	β	3年
	浜田崇(循環型社会部)	自治体向けクリマアトラス作成方法の開発：長野市における研究をベースに	一ノ瀬俊明 (社会)	B	β	1年
	堀内孝信(循環型社会部)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の大気曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄 (リスクC)	B	α	3年
静岡県環境衛生科学研究所	渡邊雅之 (環境科学部)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の大気曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄 (リスクC)	B	α	3年
	渡邊雅之 (環境科学部)	静岡県内の河川の酵母ツーハイブリッド・アッセイ法による内分泌かく乱活性の評価	白石不二雄 (リスクC)	B	β	2年
	杉浦弘康(大気・水質部)	地衣類の遺伝的多様性を活用した大気汚染診断	河地正伸 (生物)	B	β	1年
富山県環境科学センター	木戸瑞佳・中村篤博(大気課)	立山山域における大気エアロゾル粒子の化学的特徴に関する研究	西川雅高 (基盤ラボ)	B	β	3年
	溝口俊明・中村篤博(大気課)	富山県における降水中の鉛同位体比に関する研究	向井人史 (地球C)	B	β	3年
	溝口俊明・木戸瑞佳・中村篤博(大気課) 山崎敬久(生活環境課)	ライダーを用いた黄砂エアロゾル飛来状況に関する研究	杉本伸夫・松井一郎(大気) 清水厚 (アジアG)	B	β	3年
福井県衛生環境研究センター	田中宏和 (保健衛生部)	北陸地方における産業廃棄物最終処分場(管理型)の安定化に関する研究	山田正人・遠藤和人 (循環C)	B	β	4年
岐阜県保健環境研究所	村瀬秀也 (環境科学部)	環境試料中のダイオキシン類の分析法と環境動態に関する研究	伊藤裕康・橋本俊次 (化学)	B	β	1年
名古屋市環境科学研究所	大野隆史 (大気騒音部)	光化学オキシダントと粒子状物質等の汚染特性解明に関する研究	大原利真 (アジアG)	C	β	3年
	土山ふみ・鎌田敏幸(水質部)	ため池の多面的な利用と保全・再生に関する基礎的研究	高村典子 (リスクC)	B	β	1年
	朝日教智・榊原靖(水質部)	土壌・地下水汚染物質の微生物分解に関する研究	岩崎一弘 (水土壤)	B	β	2年
	榊原靖・鎌田敏幸(水質部)	水辺地域の生物の多様性に関する研究	高村典子 (リスクC)	B	β	3年
京都府保健環境研究所	濱根貴志 (環境衛生課)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の大気曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄 (リスクC)	B	α	3年
	日置正 (大気課)	日本海沿岸で採取したエアロゾル及び降水中の微量金属及び鉛同位体による長距離輸送現象の解析	向井人史 (地球C)	B	β	3年
	日置正 (大気課)	都市大気エアロゾルの発生源寄与解明のためのレセプターモデルの高精度化	大原利真・長谷川就一 (アジアG)	B	β	3年
大阪府環境農林水産総合研究所	和田峻輔 (環境情報部)	ライダー観測データを用いた近畿地方の対流圏大気環境の調査	杉本伸夫・松井一郎(大気) 清水厚(アジアG) 西川雅高(基盤ラボ)	B	β	1年
大阪市立環境科学研究所	濱田信夫 (大気環境課)	地衣類の遺伝的多様性を活用した大気汚染診断	河地正伸 (生物)	B	β	1年
岡山県自然保護センター	西本孝	埋土種子および遺伝構造を考慮した絶滅危惧植物の個体群再生	唐艶鴻・下野綾子 (生物)	B	α	1年
鳥取県衛生環境研究所	初田亜希子 (水環境室)	藻場の生態系機能による海域再生研究	矢部徹 (生物)	C	β	2年
	山根一城 (食品衛生室)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の大気曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄 (リスクC)	B	α	1年

地環研機関名	担当者 (所属)	課題名	国環研担当者 (所属)	タイプ		研究期間
				A・B・C	α ・ β	
島根県保健環境科学研究所	黒崎利恵 (大気環境グループ)	ライダー観測に基づく高濃度エアロゾルの解析	杉本伸夫・松井一郎 (大気) 清水厚 (アジアG)	B	β	1年
福岡県保健環境研究所	田中義人 (環境化学部)	微細藻類が生産する有毒物質の分析に関する研究	佐野友春 (基盤ラボ)	B	α	3年
北九州市環境科学研究所	原口公子 (環境研究課)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄 (リスクC)	B	α	3年
長崎県衛生公害研究所	森淳子 (大気科)	ライダーによる黄砂現象解明に関する研究	杉本伸夫 (大気)	B	β	1年
鹿児島県環境保健センター	寶未俊一 (環境保健部)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄 (リスクC)	B	α	3年
沖縄県衛生環境研究所	大城直雅 (環境科学班)	微細藻類が生産する有毒物質の分析に関する研究	佐野友春 (基盤ラボ)	B	α	3年

*** 研究タイプA～C**

A型共同研究：地環研等の研究者が自治体における国内留学制度を利用し、国環研において原則として1ヶ月以上にわたり共同で研究を実施するもの。

B型共同研究：地環研等と国環研の研究者の協議により、共同研究計画を定め、それに従って各々の研究所において研究を実施するもの。

C型共同研究：全国環境研協議会からの提言を受けて、国環研と複数の地環研等の研究者が参加して共同研究を実施するもの。

*** 研究タイプ α 、 β**

α ：国立環境研究所の研究者が申請する場合

β ：地方環境研究所の研究者が申請する場合